

平成28年度事業報告書（抄）

1. ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレート交付への対応

(1) 図柄入りナンバープレートの需要調査の実施

ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート（以下「ラグビーナンバー」という。）、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレート（以下「オリパラナンバー」という。）及び地方版図柄入りナンバープレート（以下「地方版図柄ナンバー」という。）の需要調査を標板地名の地域ごとに実施し、調査結果を速やかに集計し全会員に配布した。

(2) ラグビーナンバーの視認性試験及び品質適合性試験の実施

公益財団法人日本自動車輸送技術協会昭島研究室において、ラグビーナンバーの視認性試験を実施した。

また、ラグビーナンバーの物性試験を行うよう標板メーカーに依頼し、品質基準の適合性を確認した。

(3) ラグビーナンバーの円滑な交付体制確立のための対応

ラグビーナンバーの交付に向けてユーザー等からの質問、問い合わせに適切に対応するために、「ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートの交付に関する質疑応答集」を作成し、交付代行者へ配布した。

また、ラグビーナンバーは従来のナンバープレートにない、シート素材を使用しているため、取り扱い上の注意事項について事務局案を作成し、わかりやすくイラスト化した。このイラストについては、「ラグビーナンバー取扱注意事項」として会員へ配布した。

(4) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会とのライセンス契約の締結

オリパラナンバーの交付に必要なライセンスを得るため、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会及び国際オリンピック委員会（IOC）との調整を行い、ライセンス契約を締結した。

(5) 希望番号システムの改修

ラグビーナンバー、オリパラナンバーの交付については、希望番号システムを活用して行うこととされていることから、ラグビーナンバーの受付開始及び交付に向けて、希望番号システムの所要の改修を行った。

2. 地方版図柄入りナンバープレートの制度設計に関する対応

国土交通省の図柄入りナンバープレート制度検討会において、地方版図柄ナンバーやオリパラナンバーの制度設計を行う上での検討事項に関する議論が行われ、当該検討会にオブザーバーとして出席した。

3. 自動車登録手続適正化の推進

全標協においては、引き続き「自動車登録等手続適正化推進協議会」に参画し、自動車登録申請手続に関するリーフレットの作成や各自治体・警察署等への配布活動に協力し、自動車登録手続等に関する適正化の推進に努めた。

4. 個人情報の保護

認定個人情報保護団体として、個人情報保護指導委員会において決定された業務計画に基づき、苦情の処理、会員に対する情報の提供、個人情報保護指導指針の遵守指導等の充実強化に取り組んできたところである。

平成 28 年度は、4 ブロックの研修会等に講師を派遣し、会員の職員等に対する個人情報保護に係る教育研修等の支援を行った。

また、平成 27 年 9 月に公布された改正個人情報保護法の施行に伴う交付代行者等個人情報保護指針、認定業務実施方法書及び認定個人情報保護団体に係る苦情処理規則の改正の見直しについて検討した。

なお、平成 29 年 3 月の個人情報指導委員会において、平成 29 年度の認定団体業務計画が決定された。

5. 自動車保有関係手続きのワンストップサービス（OSS）に向けた関係団体との協力体制の構築

今後とも進捗状況等を注視し、関係団体との連携のもとに OSS の進展に向けて適切な対応に努めた。